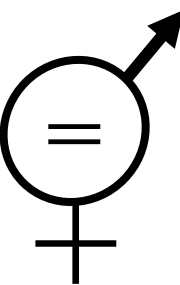




Fifth  **Game**
Rainbow's

5：ジェンダー平等を実現しよう

■ゲームテーマ

すごろく×ジェンダー平等

■コンセプト

ボードゲームを通じてジェンダー平等やLGBTQ、性の多様性などに関する理解を深める。

また、「男らしさ」「女らしさ」という考え方や性別のイメージカラー(青=男性、赤=女性)、メンズファッション・レディースに対する社会の偏見(メンズはスカートを履いてはいけないなど...)をゲームを通じてなくす。

5 ジェンダー平等を
実現しよう



遊びのルール

■ 推奨参加人数

4～5人

■ 持ち物

ハサミ、のり

■ ルール

各プレイヤーは29個(24個のイベントマスと5個のショップマス)のマスをすごろくの要領で周回する。イベントマスで獲得したポイントをもとにショップマス通過時にアイテムを購入し、先に「小物」「靴」「髪型」「トップス」「ボトムス」の5種類を揃えたプレイヤーの勝利。

■ フォーマット

ゲームシートをPDF形式で作成し、印刷。



○遊びの効果

- ・ イベントマスでのエピソードや豆知識を通して、ジェンダー平等に関する問題に興味を持ってもらい、プレイヤー同士で考えてもらうことを目的とする。
- ・ ゲームを通して、ジェンダー問題の具体的な解決策を見つけるのではなく、あくまで多種多様な価値を提示することで世の中に存在するジェンダー問題に気づいてもらうことが重要

○こだわり

- ・ 「女の子は赤、男の子は青」のようなイメージを払拭する目的で、ゲーム全体のテーマカラーを虹色に。また、虹色はレインボーフラッグというLGBTに対する取り組みの象徴でもあり、SDGs全体のテーマカラーでもある。チーム名『Rainbow's』もそれに由来。
- ・ アイテムについては、ジェンダーレスや先程述べたテーマカラーを意識。男性とも女性とも捉えることのできる表情を採用する一方で、スカートやショートヘアなど女性(男性)が身につけるものとされているアイテムをあえて採用することで、多様な価値観を伝える。